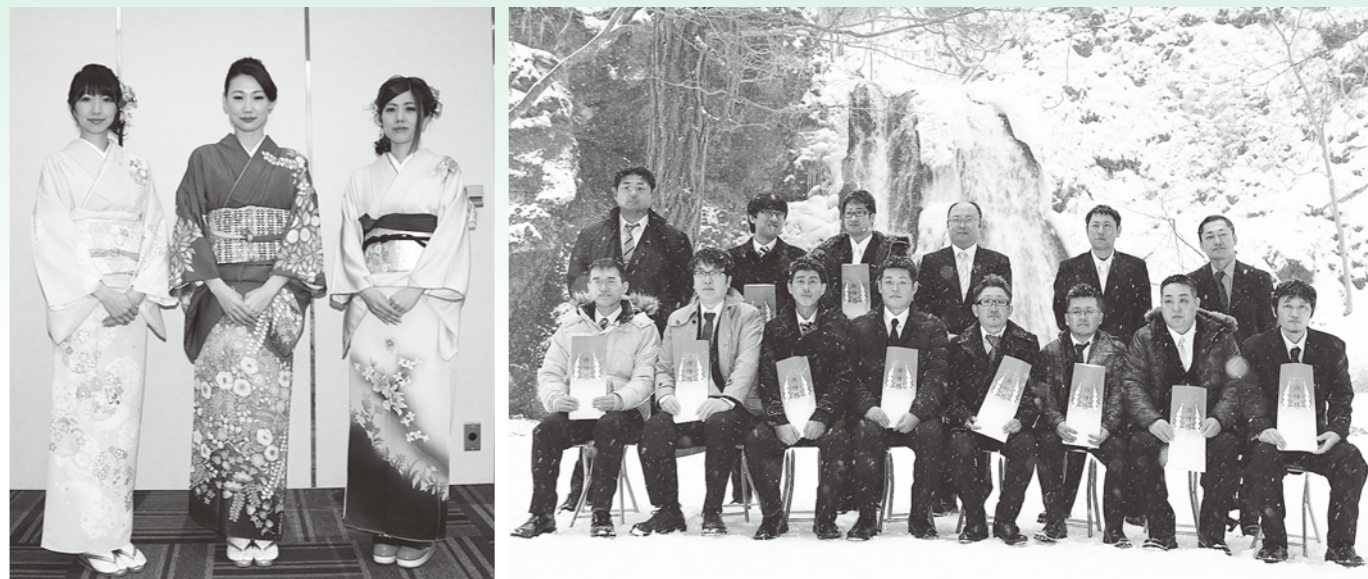


厄払い・還暦祝い

～無病息災と健康長寿を祈願～



1月27日、2月1日、数え年42歳（男性）と33歳（女性）を迎えた方々の厄払いが、八森地区は白瀑神社で、峰浜地区は峰栄館で行われました。

白瀑神社では、厄年を迎えた方々が人を形取った「形代」に3回息を吹きかけ、肩など悪いところにこすり付けてそれぞれ厄をうつし、神事でお祓いを受けました。その後、白瀑前へ場所を移動し、記念撮影を行いました。

峰栄館では、42歳と33歳が合同で厄払いを行い、出席者は災いが起こらないように想いを込めて玉串を捧げました。終了後は、お神酒を拝受し、記念撮影を行いました。

また、還暦を迎えた数え年60歳の年祝いも八森と峰浜地区で開催されました。このうち白瀑神社では、宮司から「健康に十分留意してお過ごしください。」という言葉が贈られました。

神事終了後は、会場を移して懇親会を行うなどにぎやかな「年祝い」となりました。



おがる八峰しいたけプロジェクト

八峰町菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設

新築落成

菌床しいたけで町に元気を

八峰町の菌床しいたけ栽培は、平成5年に5戸の農家が生産に乗り出したのが始まりです。いま、町ではこの菌床しいたけの「10億円産地」の実現、雇用拡大を目指しています。

地域の活性化へ

おがる八峰しいたけプロジェクト（平成28年度～平成31年度）は、地元定着を促進するための活動支援とともに、これまで町が特産化をすすめてきた菌床しいたけの実践研修施設等を整備することで、新規就業者の育成・雇用の場の確保を推進することを目的としています。

さらに、「八峰白神ブランド」を中心とした魅力ある特産品づくりとその積極的なPRを行い、地域や地元企業等が求める人材の確保や、移住者の新たな交流の創出等により、人口減少の抑制と地域の活性化につなげていこうとしています。

なぜ菌床しいたけ

町で栽培されている主な農作物は、水稲や大豆、ソバ、長ネギ、ミョウガ、キャベツ、梨、菌床しいたけ等です。このうち、販売額が1億円を超える農作物は、水稲以外では菌床しいたけのみです。

また、八峰町産のしいたけは肉厚で形状が良く市場評価も高いことから、町の主要産業の強化を考えた時に、「米を超える農作物」として大きな可能性を秘めているのは「菌床しいたけ」であるといえます。

ホダ生産量をこれまでの200万個から300万個に拡大することで生産希望者への安定供給と販売額の増大、雇用の拡大がすすめられます。



栽培研修施設として

2月3日、菌床しいたけホダ生産新施設にて新築落成式が行われました。この新施設による生産体制の確立により、菌床しいたけ販売額10億円産地達成が期待されます。

また、この施設は、栽培の実践研修施設としても使用されます。この研修には町外から2名の方が4月から研修に入ることになっています。

今後はいかに新規就農者を呼び込めるか、産地拡大できるかが課題です。